

八頭町総合戦略事業進捗状況一覧

取組状況:◎(平成27年度着手)／○(平成28年度着手)／△(実施に向けて検討中)

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	取組状況	27年度の取組			28年度以降の取組方針		
					KPI実績	達成状況	内容	H27実績	内容	H28予算
1. まちの資源や特性を活かした働く場の確保	1-1	大規模農業・林業の支援や、遊休農地、耕作放棄地等の有効利用等	雇用確保 15人(3人/年)	◎	3人	○	町内の農業生産法人において、耕作規模の拡大(約85ha)により新しく3名(郡家地域2名、船岡地域1名)の農業従事者の雇用確保が図られた。	8,151,000	耕作放棄地再生推進事業補助金を活用して、耕作放棄地を再生利用することで農地の確保を行い、農業従事者の雇用確保を図る。	2,950,000
	1-2 【重点取組】	地場産業の支援や6次産業化による雇用の確保	雇用確保 15人(3人/年)	◎	9人	○	有限会社ひよこカンパニーの自社ブランドである「天美卵」を使った卵料理を提供する農家レストラン等の整備を支援することにより、雇用の確保を図った。	100,000,000	6次産業化に取り組む企業、農業者を支援することにより雇用の確保を図る。	0
	1-3	農業がしたい人材を募集し、定住につなげる支援制度の整備	新規就農者 5人(1人/年)	◎	1人	○	県と連携を図り、農業大学校による職業訓練の実施と、親元就農促進支援交付金事業を活用するなかで、新規就農者1名を育成した。	900,000	就農を希望する者の相談の窓口となり、県と連携して農業大学校等による職業訓練を実施することで、農業の担い手としての人材育成を行う。	2,700,000
	1-4 【重点取組】	果樹栽培の後継者の養成	後継者の養成 5人(1人/年)	◎	1人	○	親元就農促進支援交付金事業を活用して、果樹農家の後継者を1名養成した。	900,000	果樹優良園維持管理事業費補助金を新設して、休園となった果樹の優良園を担い手へ継承するまでの間、果樹グループ等が維持管理することで、担い手が農業収入を得やすい環境にし、本町農業の振興を図るとともに、維持管理を行う果樹グループ等の負担を軽減する。	2,813,000
	1-5	鳥獣害対策の促進	新規狩猟免許取得者 15人(3人/年) 防止柵設置延長 5,000m(1,000m/年)	◎	新規狩猟免許取得者 14人/年 防止柵設置延長 1,196m/年	○	新規取得者への免許取得に係る経費や新規狩猟銃購入者への購入に係る経費助成を行うとともに、国庫事業を活用して侵入防止柵を設置。	3,827,000	若者等への新規参入を図るため、狩猟に係る研修会や講習会等の開催。計画的な侵入防止柵の設置に向けた集落への説明会等の開催。	4,223,000
	1-6	高校・大学との連携強化(人材の活用)	連携事業数(高校) 2件/年 連携事業数(大学) 3件/年	◎	連携事業数(高校) 3件 連携事業数(大学) 10件	○	鳥取大学、公立鳥取環境大学、八頭高校等と連携し、教育、環境、調査研究など様々な分野における取組を実施。	0	地(知)の拠点大学による地方創生推進事業に関する協定書を鳥取大学と締結。高等教育機関等との連携事業推進を図る。	0
	1-7	町が必要とする人材の募集	仕事ごとの定住 5件	◎	1件	○	県・町による移住者受入地域づくり事業補助金により、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワノク)の育成支援を行った。【移住者受入地域づくり事業】地域おこし協力隊について、任期終了後も2名が定住。	4,822,000	27年度に移住者受入地域づくり事業により設立された法人(一般社団法人ワノク)等と連携し、具体的な実施に向け、準備・試行を図る。	8,000,000
	1-8 【重点取組】	サテライトオフィスの開設など戦略的な企業誘致の実施によるイノベーション創造地域の創設	誘致企業数 5社(1社/年)	◎	0社	△	SBヒューマンキャピタル(株)と委託契約を締結し、マスタープランの策定と誘致検討企業への先行的な働きかけを実施。進出検討企業の視察件数8社(指標値:8社)の実績により目標を達成。	10,000,000	業務委託契約を継続し、企業誘致実現に向け誘致検討企業への働きかけを行うとともに、シンポジウムの開催など機運醸成に努める。	9,434,000
	1-9	鳥取県や他市町と連携した企業誘致の促進	誘致企業数(東部圏域のうち八頭町内) 5社(1社/年)	◎	0社	△	八頭町内のみに限らず、鳥取県東部圏域への企業誘致を促進するため、鳥取県や他市町との情報交換、情報共有を実施。企業から問い合わせが複数、具体的な交渉を進めた案件があったものの、条件面等が合わず、誘致企業数は0件。	0	企業誘致には単年で誘致となる案件はまれであり、他市町・町関西事務所とも連携を図り、誘致を進めるべく、情報交換・情報発信を行う。	0
	1-10	誘致企業や新規進出企業、起業に対する支援策の充実	誘致企業数 5社(1社/年) 新規起業数 5社(1社/年)	◎	誘致企業数 0社 新規起業数 4社	△	起業家支援補助金、企業立地促進奨励金等による支援、町・商工会等での起業に対する相談対応を実施。	1,522,000	起業家支援補助金、企業立地促進奨励金等による支援、町・商工会等での起業に対する相談対応を実施する。	1,318,000
	1-11 【重点取組】	若桜鉄道等を活用した観光振興	若桜鉄道乗客数 410,000人/年	◎	325,191人	△	若桜鉄道の車両の観光仕様化に係るデザインコンセプト料及び観光事業化のための必要な施設整備に関する費用便益分析調査に対する補助を行った。SUZUKIとの連携による準ラッピング列車を運行するとともに、水戸岡氏による観光列車デザイン(3車両)を決定した。	5,489,000	若桜鉄道車両の観光車両への改装設計を行う。若桜鉄道高校生通学定期定期の半額助成を行う。	25,948,000
	1-12	消費者のニーズを踏まえたマーケット型の観光商品の開発	観光商品数 15件	◎	1件	△	若桜・八頭エリアで民間委員等によるミーティングを行い、観光商品の基礎調査、素案作りを実施。【地域発観光商品開発プロジェクト】鳥取因幡・兵庫北但西部圏域の1市6町の観光資源等について基礎調査を実施するとともに、Gバスなど圏域を巡る周遊観光ルートの創出を図った。	1,619,000	地域発観光商品開発プロジェクトとして若桜・八頭エリアで行った観光商品素案について、ブラッシュアップ及び試行を実施。若桜鉄道沿線及び周辺観光資源の商品化に向けた取組を実施。	7,094,000
	1-13	八頭町をイメージアップする情報発信の強化	ホームページアクセス数 150,000件/年	◎	183,946件	○	八頭町を積極的に売り出すためのイメージ戦略を検討し、随時、情報を更新しデザインを見直すなど魅力的なホームページによる情報発信を行った。	761,000	今後も魅力あるホームページを目指し、情報発信を行う。また、地方創生加速化交付金を活用し、プロポーサル方式による業務委託を実施して、本町の知名度向上とイメージ浸透の醸成を図るため全国に向けて情報発信を行う。	12,415,000

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	取組状況	27年度の取組			28年度以降の取組方針		
					KPI実績	達成状況	内容	H27実績	内容	H28予算
2. 結婚・出産の希望がかなえられる子育て環境の整備	2-1-①	若者の交流、社交の場の確保(空き施設等利用)	イベント回数H27 8回 参加者数H27 400人	◎	イベント回数 10回 参加者 403人	○	空き施設等を利用して若者の交流の場を提供するイベントを実施するとともに、イベントを開催しようとする団体等に対して、補助金制度等の個別説明・相談対応を実施。	0	継続して交流イベントを企画するとともに、イベントを開催しようとする団体の活動等に対して、県・町の補助金により支援を行う。申請により予算化して実施する。【みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業・魅力ある地域づくり推進事業等】	1,000,000
	2-1-②	若者の交流、社交の場の確保(空き施設等利用)	青年団発足 1団体/リーダー養成15人(3人/年)	◎	青年団設立 1団体/13人	○	活動休止中であった青年団を再設立し、リーダーの確保と育成を図った。	0	各種イベント等に参加・協力をし、事業拡大に向けた取組を計画。	50,000
	2-2-①	まちコンなどの婚活イベントや出会いのための自分磨き講座の開催	魅力あるまちづくり事業 5事業/年	◎	6事業	○	地域振興や活性化につながる事業に取り組む個人・団体を支援し、魅力ある地域づくりを推進した。 9団体より希望があり、7団体を採択した。(採択後、1団体辞退)	716,000	魅力ある地域づくり事業として、地域振興に寄与する取組に対する助成事業を継続成する。	1,000,000
	2-2-②	まちコンなどの婚活イベントや出会いのための自分磨き講座の開催	婚活事業 3事業/年	◎	4事業	○	結婚を希望する方に結婚のきっかけとなる出会いの場を提供するため、婚活イベントを実施した。(町単独で2回、他市町との合同で2回実施)	379,000	町単独のイベントと他市町との合同イベントを実施し、結婚のきっかけづくりとなる事業について継続して取り組む。	681,000
	2-3	不妊治療の支援の実施	希望者の申請により助成を実施	◎	継続申請者(4人)、新規申請者(11人)	○	鳥取県特定不妊治療費助成金交付事業の交付決定を受けた者に対し、1回5万円を上限として不妊治療費を助成。	1,425,000	不妊治療の経済的負担を軽減するため、継続して実施する。	900,000
	2-4	男性の子育てへの参画の推進	鳥取県男女共同参画推進認定企業数24社	◎	鳥取県男女共同参画推進認定企業数 16社	△	子育てに対する男女共同参画意識の高揚を図るため、父親の育児講座実行委員会とともに男性の育児・子育て講座等を開催した。	227,000	父親の育児講座実行委員会とともに男性の育児・子育て講座等を開催する。	200,000
	2-5	子どものための絵本等の充実	絵本 450冊/年 児童書 450冊/年	◎	絵本 360冊 児童書 530冊	△	子どもの読書活動推進計画に基づき、絵本等の充実を図った。平成27年度は、学校配付図書について中学年向けの児童書を重点的に整備した。	1,243,000	子どもの読書活動の推進について、図書館が中心的な役割を果たすべく絵本等の充実を図る。	1,300,000
	2-6	保育料の軽減の拡充	出生数140人/年	◎	78人(平成27年度)	△	第3子以降の保育料無償化を実施。	100,971,000	第2子以降の保育料を無償化し支援拡充を図っている。	108,647,000
	2-7 【重点取組】	子育て中の親が情報を共有できる場、安心して働ける環境の拡充	3歳未満の子どもの数に対する支援センター登録者数 45% 放課後児童クラブの利用者数 140人/年 ファミリーサポートセンター依頼会員に対する支援会員の割合 30%	◎	登録者数 39% 利用者数 126人/年 会員割合 29%	△	子育て支援センターを1ヶ所に拠点化するとともに、検診等を活用しPR、育児相談などを行った。放課後児童クラブについては、4年生以上の受け入れ態勢、利用料金等について検討。ファミリーサポートセンターについては、子育て支援センターと併設し、連携した子育て支援を行った。	30,094,000	子育て支援センターのPR、育児相談などの活動を継続して行う。また、放課後児童クラブについては空き施設利用による受け入れ児童の拡大を図るとともに、放課後子ども教室事業との連携について関係課と協議。ファミリーサポートセンターについては、支援会員確保のためのPR活動を行う。	22,794,000
	2-8 【重点取組】	保育施設的环境整備	保育所での多様なサービスの実施	◎	保育所での多様なサービスの実施	○	船岡地域の3保育所を統合した新保育所の地質調査、基本設計業務及び実施設計業務を行った。平成27年度に新規開所した郡家東保育所においても多様化する保育ニーズに対応するため、病後児保育や土曜午後保育を実施している。	59,598,000	病後児保育や土曜午後保育など保育サービスの多様化を継続実施すると共に、船岡地域の3保育所を統合した新保育所の建設を行う。	777,681,000
	2-9	仕事と育児・介護とが両立できる企業の普及啓発	鳥取県男女共同参画推進認定企業数24社	◎	鳥取県男女共同参画推進認定企業数 16社	△	町報などを通じて、働きながら育児や子育て、介護を行うための制度啓発を行うとともに町内事業所に対して、認定企業制度の啓発を図った。	0	町報などを通じて、働きながら育児や子育て、介護を行うための制度啓発を行うとともに町内事業所に対して、認定企業制度の説明や男女共同参画に関する啓発等を行う。	0
	2-10	義務教育施設の整備・充実	再編後の小学校数 4校	◎	8校	○	新小学校の校名・校章・校歌・通学方法を決定。また、新八東小学校改修に係る設計業務を行った。	8,910,000	新八東小学校の改修及び新船岡小学校の改修を実施。また、統合に伴い必要物品等の運搬及び購入を実施。	423,500,000
	2-11 【重点取組】	小中学校における少人数学級への取組	1学級小学校30人以下、中学校33人以下	◎	1学級小学校30人以下、中学校33人以下	○	郡家東小学校4年生、5年生、6年生と八頭中学校3年生で町基準で学級編制を実施。	16,000,000	郡家東小学校3年生、4年生、5年生、6年生と八頭中学校2年生で町基準で学級編制を実施予定。	19,000,000
2-12 【重点取組】	ICTを活用した授業の充実	各校でのICT授業の実施	◎	各校でのICT授業の実施	○	八頭中学校特別教室への大型ディスプレイ3台導入。各校でのICT授業の充実に努めた。	1,394,000	大型ディスプレイとタブレット型PCを計42セットを新規購入し、小中学校における授業改善を推進する。	4,970,000	
2-13	学校給食におけるアレルギー対応食の充実	保護者の申請によりアレルギー対応給食を提供	◎	小学校 25人/中学校 13人	○	代替食材を使用して別調理等で提供した。	0	学校や保護者との連携を密にし、今後も個々の症状に合わせたアレルギー対応食の提供に努める。	0	

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	取組状況	27年度の取組			28年度以降の取組方針		
					KPI実績	達成状況	内容	H27実績	内容	H28予算
3. まちへの人の流れをつくる	3-1	鳥取市のベッドタウン化を促進するための道路や宅地等の整備	宅地造成 74戸	◎	7戸	△	民間企業による宅地造成事業に対する補助事業を整備し推進を図った。	0	申請の実績により予算措置を行い、民間企業の宅地造成事業に伴う補助金により宅地造成の推進を行う。	0
	3-2	公共交通体制の見直し	公共交通網形成計画の策定(平成28年度)	◎	未策定	△	若桜鉄道(株)の継続的な事業運営を支援するための運行支援補助を行うとともに、安全かつ安定した運行を維持するため、鉄道施設の保守管理を若桜鉄道(株)へ委託して行う。また、若桜鉄道(株)の経営改善を図るため、鉄道事業再構築事業の見直しを行った。	130,906,000	継続して若桜鉄道の安全かつ安定した運行を維持するため、鉄道施設及び車両の保守管理を若桜鉄道(株)へ委託して行くとともに鳥取県東部地域公共交通網形成計画及び鉄道事業再構築実施計画を策定する。(平成28年度中に策定)	146,028,000
	3-3	八頭町をイメージアップする情報発信の強化【再掲】	ホームページアクセス数 150,000件/年	◎	183,946件	○	八頭町を積極的に売り出すためのイメージ戦略を検討し、随時、情報を更新しデザインを見直すなど魅力的なホームページによる情報発信を行った。	761,000	今後も魅力あるホームページを目指し、情報発信を行う。また、地方創生加速化交付金を活用し、プロポーザル方式による業務委託を実施して、本町の知名度向上とイメージ浸透の醸成を図るため全国に向けて情報発信を行う。	12,415,000
	3-4	鳥取東部市町が連携して実施する移住定住の促進	圏域外からの転入者数 3世帯/年	◎	2世帯	△	東部市町が連携して、東京や大阪での移住定住相談会に参加しPRを実施。	318,000	首都圏等での移住定住相談会においてPRを継続して実施する。また、子育て支援策等を掲載したPRパンフレットを作成し活用を図る。	1,312,000
	3-5-①	IJUターンの獲得に向けたイベントの開催や支援体制の構築	移住者受入15世帯/就労支援数15人	◎	移住者受入 0世帯 就労支援数 0人	△	県・町による移住者受入地域づくり事業補助金により、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行った。【移住者受入地域づくり事業】	4,822,000	27年度に移住者受入地域づくり事業により設立された法人(一般社団法人ワケニ)等と連携し、具体的な実施に向け、準備・試行を図る。	8,000,000
	3-5-②	IJUターンの獲得に向けたイベントの開催や支援体制の構築	お試し住宅の整備3箇所	○	—	—	おためし住宅の確保について検討。	0	空き家を借り上げ、お試し住宅(1箇所)を確保する。	1,200,000
	3-6	都市部との交流の促進	都市部との新規交流 5件	◎	2件	△	県・町による移住者受入地域づくり事業補助金により、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行った。都市部と鳥取をつなげる取組として、東京都内でワークショップや交流会を開催した。【移住者受入地域づくり事業】	4,822,000	27年度に移住者受入地域づくり事業により設立された法人(一般社団法人ワケニ)等と連携し、具体的な実施に向け、準備・試行を図る。	8,000,000
	3-7-①	空き家の活用や新築住宅の取得の支援	移住受入 15世帯(3世帯/年)	◎	2世帯	△	移住定住相談員(1名)を配置して、空き家物件の調査等及び移住定住相談対応を専門的に行う。また、空き家登録制度について広報し、空き家登録バンクの充実を図るとともに、一元的な情報提供を実施した。	1,346,000	移住定住相談員(1名)を継続して配置するとともに、空き家登録制度について積極的に広報し、登録バンクの充実を図る。	2,226,000
	3-7-②	空き家の活用や新築住宅の取得の支援	新築家屋 100棟 (20棟/年)	◎	25件	○	新築住宅を取得した方を対象に固定資産税の負担軽減を行った。(対象住宅に係る固定資産税額の2分の1に相当する金額を3年度を限度に補助)	907,000	新築住宅53件、補助予定	2,169,000
	3-7-③	空き家の活用や新築住宅の取得の支援	リフォーム助成件数 3件/年	○	—	—	リフォーム助成制度の創設について検討。	0	平成28年度に補助制度を新設し実施。	10,500,000
	3-8	農業がしたい人材を募集し、定住につながる支援制度の整備【再掲】	新規就農者 5人(1人/年)	◎	1人	○	県と連携を図り、農業大学校による職業訓練の実施と、親元就農促進支援交付金事業を活用するなかで、新規就農者1名を育成した。	900,000	就農を希望する者の相談の窓口となり、県と連携して農業大学校等による職業訓練を実施することで、農業の担い手としての人材育成を行う。	2,700,000
	3-9	町が必要とする人材の募集【再掲】	仕事ごとの定住 5件	◎	1件	○	県・町による移住者受入地域づくり事業補助金により、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行った。【移住者受入地域づくり事業】 地域おこし協力隊について、任期終了後も2名が定住。	4,822,000	27年度に移住者受入地域づくり事業により設立された法人(一般社団法人ワケニ)等と連携し、具体的な実施に向け、準備・試行を図る。	8,000,000

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	取組状況	27年度の取組			28年度以降の取組方針		
					KPI実績	達成状況	内容	H27実績	内容	H28予算
4. 将来にわたり暮らし続けることができる環境をつくる	4-1	八頭町をイメージアップする情報発信の強化【再掲】	ホームページアクセス数 150,000件/年	◎	183,946件	○	八頭町を積極的に売り出すためのイメージ戦略を検討し、随時、情報を更新しデザインを見直すなど魅力的なホームページによる情報発信を行った。	761,000	今後も魅力あるホームページを目指し、情報発信を行う。また、地方創生加速化交付金を活用し、プロポーザル方式による業務委託を実施して、本町の知名度向上とイメージ浸透の醸成を図るため全国に向けて情報発信を行う。	12,415,000
	4-2	八頭町まるごとスポーツパーク構想	キャンプ地誘致 1か国	◎	0か国	△	東京オリンピック(ホッケー競技)の事前キャンプ地として外国チームへの誘致活動に向けて関係団体と協議を行った。	0	東京オリンピック(ホッケー競技)の事前キャンプ地として外国チームへの誘致活動に向けて関係団体と連携を取りながら進める。	0
	4-3	積極的なイベントの開催・支援	イベント支援数(観光協会)H27 11件	◎	12件	○	観光協会に対して補助を行い、観光協会及び会員のイベントの開催を支援。	8,942,000	観光協会に対して支援・連携を行い、イベントの開催を図る。	10,638,000
	4-4	町民健康食育モニタリングの実施	参加者数 80人/年	○	0人	—	内部協議を行い、大学等との連携を視野に入れた事業展開に向けて検討した。	0	大学との調整・協議を行い、募集要項を作成する。	0
	4-5	特色ある地域活性化の拠点施設の整備	空き施設の活用 5件(1件/年)	◎	2件	○	公共施設の適正な配置及び管理を行うため、施設の現状や課題を把握し今後の公共施設のあり方を検討するため公共施設白書を作成した。地域福祉拠点施設として旧大御門・下私都保育所の整備など空き施設の活用を図った。	0	公共施設等のあり方を検討し、有効活用に努める。	0
	4-6	地域おこし協力隊による地域の活性化	派遣隊員 6人/年	◎	7人	○	協力隊の任期終了に伴う新規採用により、計7人を確保。派遣集落において活性化に係る取組みを実施した。任期終了後の協力隊員2名は、引き続き定住。	27,755,000	受入に前向きな集落へ地域おこし協力隊の派遣を行い、集落の活性化を図るとともに、任期終了後の地元定着について支援する。	27,476,000
	4-7	郷土芸能、芸術・文化の振興	参加者数 150人/年	△	0人	—	発表団体5～10団体程度、参加者150人程度に向けて内容検討。	0	郷土芸能発表会の開催に向けてのシミュレーション等を検討。	0
	4-8	八頭町オリジナル教室の開催	参加者数 50人/年	◎	309人	○	芸術家の派遣事業として、2小学校(大江小学校3回・船岡小学校2回)で実施。県事業を活用したことから、経費負担なし。	0	事業について積極的にPRし活用に努める。	0
	4-9	地域の中心部における医療機関、商業施設、公共施設等の維持・集約	3地域	◎	3地域	○	保育所・学校など規模等を動かし、適正な配置に努めた。	0	施設の統合等、整備計画に沿って整備する。	0
	4-10【重点取組】	保育施設的环境整備【再掲】	保育所での多様なサービスの実施	◎	保育所での多様なサービスの実施	○	船岡地域の3保育所を統合した新保育所の地質調査、基本設計業務及び実施設計業務を行った。平成27年度に新規開所した郡家東保育所においても多様化する保育ニーズに対応するため、病後児保育や土曜午後保育を実施している。	59,598,000	病後児保育や土曜午後保育など保育サービスの多様化を継続実施すると共に、船岡地域の3保育所を統合した新保育所の建設を行う。	777,681,000
	4-11	訪問看護ステーションサテライト施設の開設	設置数 1ヶ所 利用者数 25人	◎	0ヶ所	△	訪問看護ステーション実施事業者へのPRと開設意向及び空き施設の調査を行い、空き施設の利用希望について他部署と協議した。	0	訪問看護ステーション実施事業者へ具体的な働きかけを行い、施設の改修及びサテライトを開設する。	0
	4-12	地域の福祉拠点の整備	整備数 12施設(地区)	◎	4施設	○	旧大御門保育所、旧下私都保育所を改修し、地域福祉活動の拠点として整備。	35,054,000	旧中私都保育所、旧たから保育所を改修し、地域福祉活動の拠点として整備する。	36,884,000
	4-13-①	買い物弱者に対する買い物サービスの充実等高齢者への支援	買い物サービス利用者数 9,000人/年	◎	7,988人/年	△	買い物弱者を主な対象者として移動販売を行うとする事業者に対し、移動販売に要する経費の一部補助を行い、買い物弱者に対する支援を実施。	266,000	買い物支援事業実施について販売業者に働きかけるとともに、移動販売車の時刻表を広報誌に掲載するなど支援を継続する。	0
	4-13-②	買い物弱者に対する買い物サービスの充実等高齢者への支援	タクシー助成登録者数 1,300人/年	◎	982人	△	公共交通機関で外出が困難な高齢者に対して、タクシー利用費の助成を行うことで、日常生活を営む上で必要な買い物・通院等への交通手段の確保を行った。	8,251,000	広報等により事業周知を行い、登録者・利用者の増加を図る。公共交通機関での外出が困難なものについて、移動手段の確保を行う。	9,600,000
4-13-③	買い物弱者に対する買い物サービスの充実等高齢者への支援	メディア活用支援利用者数 40人/年	◎	21人	△	地域福祉活動において、インターネットを使ったネットショッピング講座の開催を呼びかけたが、ネット被害やトラブルの懸念があり開催に至らず。公民館における生涯学習講座において、高齢者向けスマートフォン講座を実施しメディア活用支援に努めた。	0	地域福祉活動では各地区での実施について引き続き働きかけを行うとともに、公民館講座等における活用支援を推進する。	0	
4-14	公共交通体制の見直し【再掲】	公共交通網形成計画の策定(平成28年度)	◎	未策定	△	若桜鉄道(株)の継続的な事業運営を支援するための運行支援補助を行うとともに、安全かつ安定した運行を維持するため、鉄道施設の保守管理を若桜鉄道(株)へ委託して行う。また、若桜鉄道(株)の経営改善を図るため、鉄道事業再構築事業の見直しを行った。	130,906,000	継続して若桜鉄道の安全かつ安定した運行を維持するため、鉄道施設及び車両の保守管理を若桜鉄道(株)へ委託して行くとともに鳥取県東部地域公共交通網形成計画及び鉄道事業再構築実施計画を策定する。(平成28年度中に策定)	146,028,000	